

# 「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 14 日

事業名称		会計事務費 [金融機関検査事務]						
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 5	会計管理費	事業番号	1
事業の種別		<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) <input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの						
担当部署・課長名		会計 課 出納 係			課長名		木村 西	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	行 - 2		
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現					総合計画書 (ページ)	122		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 指定金融機関、収納代理金融機関、下水道事業出納取扱金融機関及び下水道事業収納取扱金融機関(以下、「金融機関等」とする。)の取りまとめ店			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 検査対象の金融機関等の数				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 公金の収納手続が適正に行われている。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 改善が必要と認められた金融機関等の数				
	③ そのために何をしましたか。 検査を実施。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 検査を実施した金融機関等の数				
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標
	対象指標	①の数値	箇所	18	17	17		
	成果指標	②の数値	箇所	0	0	0		
	目 標	②の目標値	箇所	0	0	0	0	—
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 検査時の指導等により、指摘案件0を維持する。								
3 経費	事業費(実績)		円	177,801	180,045	185,939		
	財源	一般財源	円	177,801	180,045	185,939		
		特定財源	円	0	0	0		
	(うち受益者負担)		円	0	0	0		
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人/時間	0.1(人)	0.1(人)	200(時間)		
		所要人数(再任用)	人	0	0	0		
職員人件費(再任用以外)		円	831,000	838,000	840,000			
職員人件費(再任用)		円	0	0	0			
事業費+人件費		円	1,008,801	1,018,045	1,025,939			
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く 市内に取りまとめ店のない金融機関等に対する検査のあり方。							
	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く 地方自治法施行令及び会計事務規則に基づき、検査効果を含めた有効な検査方法を検討する。							
5 今後の方向性								

※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。  
 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円  
 時間単価は、4,200円  
 で計算してください。  
 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)